

はじま 議会だよ!

令和4年

5月1日発行

2022 MAY

No.178

主な内容

- 第1回(3月)定例会概要…………… 2P
- 質疑・議員発議、人事案件、請願の審査、
陳情・要望、議会改革中間報告…………… 2～5P
- 一般質問 16議員が市の諸問題を問う…………… 6～11P
- 3月定例会審議結果・賛否一覧…12P

「美しい日本の歩きたくなるみち500選」に選ばれた
“美濃路街道” 境川堤防の桜並木 (小熊町)

第 1 回 (3 月) 定 例 会

3 月定例会で次のことが決まりました。

第 1 回市議会定例会は 3 月 1 日招集され、3 月 25 日までの 25 日間の会期で開催されました。

市長から令和 4 年度の施政方針が述べられ、一般会計、特別会計、企業会計の令和 4 年度予算、令和 3 年度補正予算、条例の一部改正など 34 件が提出され、本会議、委員会、特別委員会
で慎重に審議の結果、原案のとおり可決及び同意しました。

また、議員発議による決議、条例及び規則の一部改正を原案
のとおり可決しました。

今定例会で決まったこと、議案に対する審議の状況は次のとおりです。

令和 4 年度羽島市一般会計予算

子ども応援サポーターが多様化する児童生徒を支援します。

サポーターが総合的な研修を通じて支援の在り方を学び、実践することで、今まで以上に児童生徒の多様性に応じたきめ細かい支援を可能にします。

問 多様化する児童生徒が主体的な学校生活を送ることができるよう支援することだが、想定される具体的な対応や支援の在り方は。

答 学習に遅れがちなお子さんを対象とした学力定着を図るための担任の補助業務や、発達障がいのあるお子さんを対象とした一人一人のニーズに合わせた学校生活への適応支援はもとより、性的マイノリティのお子さんや重度の障が

いのあるお子さんの見守りや仲間とのかわり支援などを想定している。

問 外国人で日本語が話せない児童生徒の支援はどのように実施するか。

答 現在、県費外国人児童生徒適応指導員により週に 3 時間程度日本語指導等を実施している。今後は、児童生徒の状況や保護者の要望を踏まえ、学習や生活に支障がないよう支援を行う。

令和 4 年度羽島市一般会計予算

異常気象による水害の被害を最小限に抑制します。

水位センサーや水路を監視するカメラを設置し、遠隔監視することで、迅速な災害体制の整備が可能になります。

問 水位センサー、カメラはどこに何カ所設置される予定か。

答 水位センサーや監視カメラの設置場所には、幹線水路に設置されている各水門 20 カ所に設置する予定である。

問 いつまでに遠隔監視施設の整備を行うか。

答 遠隔監視施設の整備は、台風シーズンである、10 月ごろまでに、水位センサーや監視カメラなどが設置できるよう見込んでいます。

質 疑

令和 4 年度予算

問 職員人件費について、財政安定化対策によって、職員の減額率は何%で実施する計画か。また、減額される総額はいくらか。

答 令和 3 年人事院勧告を踏まえ、期末手当を年間 0・15 月下げることによる減額相当として、給与減額率を 0・9 ポイント緩和し、部長・課長等の管理職は 3・8%、

課長補佐・係長・主査は 2%、主任・主事は 1%とする予定である。また、市民病院、消防を含む常勤の一般職全体の給与減額の総額は約 8000 万円を見込んでいます。

問 公共施設等整備基金積立金に

ついて、今後見られる公共事業費の増大は何か。

答 当基金は将来の公共施設整備に向け、令和元年度から運用している。令和 4 年度の増額分は、主に令和 7 年度及び 8 年度に負担のピークを迎えると見込んでいる。次期ごみ処理施設整備を見据えたものである。

問 市民協働推進事業について、アダプトプログラムにより実施している事業の概要と実情は。

答 公共施設アダプトプログラムは、道路や公園などの公共施設の清掃を行っていただく団体や企業等に対し、市がその活動を支援するものである。年 4 回以上、清掃や除草活動を行っていただき、市はその活動支援として、軍手やご

第1回(3月)定例会

み袋の提供やボランティア保険の加入を行っている。現状、同制度による登録数は12団体で、主にその方々が居住される近くの道路、公園、バス停留所、小学校の敷地などで美化活動に取り組んでいただいている。

問 災害対策事業について、メール配信システムの改修の内容は。

答 現在、防災行政無線の内容をメールにて配信している。改修後は、メール配信をする際に、ファイルのリンク添付をすることが可能となる。また、教育委員会が導入を予定している「学校情報配信アプリ」と連携することで、メール配信に加えて、アプリによる防災行政無線の内容配信を行う予定をしている。

問 ゼロカーボンシティ達成推進事業について、住宅用再生可能エネルギー設備を設置する者に対する補助の具体的な内容は。

答 個人住宅に、太陽光発電設備及び蓄電池を設置する場合、その費用の一部を補助するもので、太陽光発電設備が1kWあたり7万円、蓄電池が1kWあたり5万5000円で、蓄電池の補助については、太陽光発電設備と同時に設置する場合に限り、上限はそれぞ

れ5kWまでを予定している。今後、国や県が同様の補助制度を創設した場合は、補助金額が変わる場合がある。事業開始時期は、令和4年7月からを考えている。

問 高齢者計画策定事業について、次期高齢者計画策定に向けた調査の詳細は。

答 高齢者計画は3年ごとに見直すもので、次期高齢者計画は令和6年度から令和8年度を対象期間として策定する。計画の策定にあたり、高齢者を取り巻く介護や暮らし等の状況や地域の課題について把握し、適切に反映していくことが必要となるため、令和4年度は、市内の要支援・要介護認定を受けていない65歳以上の方、要支援・要介護認定者、主な介護者、介護支援専門員等へのアンケート調査を実施し、令和5年度に行う計画策定事務の基礎資料とする。

問 閲覧用図書整備事業について、電子書籍導入についての詳細と市民の利用方法は。

答 電子書籍の導入には、令和4年3月より新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、非来館者サービスや読書バリアフリーを推進するなど、図書館機能を強化するものとして導入した。電子書籍

の利用方法については、一般書籍の貸し出しと異なり、図書館ホームページより、インターネット環境にあるパソコンやスマホ、タブレットで24時間利用することができる。利用対象者は、市内在住又は、在勤在学の方を対象としており、貸出冊数は3冊までとし、2週間を貸出期間としている。



令和4年5月現在、2,000冊を運用

問 学校体育施設管理費について、県立看護大学の体育施設の規模と利用方法は。

答 スポーツ推進課が利用手続きの窓口となり、団体登録を行った上で利用申請していただく。登録できる団体は、市内に在住、在勤若しくは在学する利用者が10人以上で構成される団体とする。利用できるスポーツ競技は、バスケッ

トボール、バレーボール、バドミントン、卓球などだが、スポーツ活動のみならず、社会活動や地域活動などの目的でも利用することができる。

問 交通安全施設整備事業について、通学路の安全対策の内容は。

答 通学路の安全対策は、令和3年度の羽島市通学路安全推進会議にて、令和4年度に対策することと決定した。具体的には、足近小・福寿小通学路における水たまり解消のための排水改良、竹鼻小・中央小・堀津小・羽島中・竹鼻中及び中島中の通学路においては、外側線や交差点クロスマークの引き直しや部分的にポストコーンを設置する。また、堀津小通学路では橋の高欄の改修、中央小通学路では通過車両への注意喚起のため通学路看板を設置する予定である。

問 国民健康保険特別会計予算について、国民健康保険財政調整基金から1億6475万円繰り入れる理由は。

答 県に支払う国保事業費納付金の大幅な増加により、令和4年度の1世帯あたりの賦課額が、令和3年度と比べて10%以上の増加見込みとなったことに対し、コロナ

第 1 回 (3 月) 定 例 会

禍における被保険者の生活への影響が大きいことから、保険税負担を抑制するため、基金を繰り入れるものである。

問 病院事業会計について、医師が1月1日現在で令和3年と比べて7人増員し、市民の診療について改善されている点は。

答 麻酔科、外科では、より安全な手術を行うことができるのと同時に、手術枠を増やしている。呼吸器内科では、診療日を週5日に増やし、放射線科では、自院での読影件数を増やしている。

問 水道事業会計について、令和4年度の配水池耐震化の事業計画は。

答 配水池耐震化事業は、桑原水源地の配水池増設工事を令和2年度から令和4年度の3カ年で実施している。3年目で最終年度となる令和4年度は、配水池本体に引き続き、場内配管布設及び電気計装設備について施工する計画である。

令和3年度補正予算

問 観光費寄附金について、寄附の目的は。

答 濃尾大花火終了に伴い、羽島市花火大会実行委員会より、残余財産約800万円をコロナ終息後

における代替イベント開催などを目的とした観光振興のため、市へ寄附された。

条例の制定・一部改正

問 羽島市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について、勤務環境整備に関する措置とは具体的に何か。

答 今回の改正により、育児休業に関して任命権者が講じる措置として新たに加わるのは、研修の実施、相談体制の整備、その他の勤務環境の整備に関する措置である。管理職を対象とした研修や相談しやすい環境づくりを進めるなど、育児休業の取得に対する不安を軽減し、より取得しやすい環境となるよう取り組む。

問 羽島市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例について、災害出動の開始と終了のタイミングは。

答 出動時間は、消防団員が庫庫に到着した時間、または災害現場に到着した時間から、現場の解散時間、または次の災害出動の準備が整うまでを想定しており、後日提出される出動名簿、出動時間、活動内容等の報告をもとに報酬の支給を行う予定としている。

問 羽島市老人福祉センター条例の一部を改正する条例について、指定管理制度を廃止し、市の直営となるが、管理及び事業を行う職員体制は。

答 施設の管理運営は、利用者の受付や問い合わせ、講座の企画立案、安全管理、救急対応及び清掃等の業務について、職員2人体制で行う。

問 羽島市送迎車両転回場の設置及び管理に関する条例について、送迎車両の転回場を設置することとした経緯は。

答 南宿駅周辺の道路幅が狭く、車両のすれ違いが困難であるため、旧JAぎふ足近支店の敷地が転回場として使用されていた。しかし、旧足近支店の敷地が、決まり、敷地が使用できなくなる可能性が生じたため、自治会から支店跡地の一部を購入し、転回場を設置することについて要望書が提出され、設置



送迎車両等の使用はおおむね20分とする

することとした。

問 羽島市水防団設置に関する条例の一部を改正する条例について、水防団のここ数年の出動回数と出動人数は。

答 平成29年度は出動なし、30年度は境川が1回で18人、長良川が1回で57人、令和元年度は出動なし、2年度は長良川が1回で26人、3年度は木曾川が1回で56人である。

議員発議

●ロシアのウクライナ侵略に抗議する決議

ロシアのウクライナ侵略に対し、抗議の意を対外的に表明しました。

●羽島市議会委員会条例の一部を改正する条例について

市の組織改編に伴い、常任委員会

の所管事項を改正しました。

●羽島市議会議員の議員報酬の特例に関する条例の一部を改正する条例について

市議会議員の議員報酬の特例に関する条例の一部を改正する条例について

	条例本則	改正後
議長	441,750円	424,000円
副議長	413,250円	397,000円
議員	394,250円	379,000円

第 1 回 (3 月) 定 例 会

市の厳しい財政状況に対処するため、令和4年4月1日から1年間の議員報酬月額を表のとおり改正しました。

人事案件

人権擁護委員の候補者に

小林 眞さん(福寿町)

委員の任期満了に伴い、小林さんを再び推薦したい旨の議案が提出され、これに同意しました。

羽島市教育委員会教育長に

森 嘉長さん(足近町)

教育長の任期満了に伴い、森さんを再び任命したい旨の議案が提出され、これに同意しました。

羽島市監査委員に

松岡 滋さん(岐阜市)

委員の任期満了に伴い、松岡さんを再び選任したい旨の議案が提出され、これに同意しました。

羽島市固定資産評価審査委員会委員に

大野 祐喜夫さん(正木町)

委員の任期満了に伴い、大野さんを再び選任したい旨の議案が提出され、これに同意しました。

羽島市公平委員会委員に

吉原 りえさん(正木町)

委員の任期満了に伴い、吉原さんを再び選任したい旨の議案が提出され、これに同意しました。

請願の審査

【不採択とされたもの】

・新型コロナウイルスに感染した、国民健康保険に加入する個人事業主を支援するため、傷病手当金を事業主に支給することを求める請願

陳情・要望

3月定例会で受理した陳情・要望は次の1件です。

・母(毛嘉萍)が中国で不法に逮捕されている件に関する要望
受理した陳情・要望は本会議で報告され、全議員に陳情書の写しを配布しました。

議会改革中間報告

議会改革特別委員会は議会機能の充実強化や活性化など、議会改革について協議を重ねてきました。令和3年度の特別委員会(で協議し、決定したことは次のとおりです。

- 全ての会議の会議録を市ホームページに公開する。
- インターネットでの録画配信に併せ、ユーチューブでも配信する。
- 予算書や決算書を含む議案を市ホームページに公開するとともに、傍聴人へ貸し出す。
- 一般質問の際の補足説明として、デジタル資料を使用することを可能とする。
- タブレット端末やグループウェアについて、導入に向け、調査研究を進める。
- 議員定数の削減は行わず、現状維持とする。

議員定数については、議会改革特別委員会得た結果を全員協議会で報告し、全議員で協議した結果、議員定数の削減は行わず、現状維持とすることとなりました。市ホームページでは、令和2年度からの議員定数に関する議論について公開しています。

今後も、二元代表制の一翼として、市民に信頼され、活力のある議会を構築するため、議会改革に継続的に取り組みます。



市議会を傍聴しましょう

次回の定例会は、6月3日(金) 午前10時開会の予定です。

※新型コロナウイルス感染症の発生状況により傍聴を制限する可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

インターネットでLIVE中継がご覧いただけます。

<https://smart.discussvision.net/smart/tenant/hashima2/WebView/rd/council.html>



聴覚に障がいのある方も議事を傍聴していただけます。

手話通訳者の派遣をご希望の方は、傍聴希望日の7日前までに議会事務局にお申し込みください。また、音が聞き取りにくい方へFM受信機とヘッドホンを貸し出します。



羽島市議会
公式Facebookページ



マチイロ

はしま議会だよりを
アプリで配信

令和4年
3月定例会

16議員が市の諸問題を問う！

一般質問

- 1 南谷 佳寛 議員 6ページ
- 2 栗津 明 議員 7ページ
- 3 豊島 保夫 議員 7ページ
- 4 柴田 喜朗 議員 7ページ
- 5 原 一郎 議員 8ページ
- 6 堀 隆和 議員 8ページ
- 7 花村 隆 議員 8ページ
- 8 星野 明 議員 9ページ
- 9 近藤 伸二 議員 9ページ
- 10 山田 紘治 議員 9ページ
- 11 川柳 雅裕 議員 10ページ
- 12 安井 智子 議員 10ページ
- 13 藤川 貴雄 議員 10ページ
- 14 野口 佳宏 議員 11ページ
- 15 南谷 清司 議員 11ページ
- 16 後藤 國弘 議員 11ページ

※一般質問については議員の責任において掲載しております。
内容等に関するご意見は、直接議員へお尋ねください。

市議会の会議録を検索・閲覧できます。

羽島市議会
会議録検索システム <https://ssp.kaigiroku.net/tenant/hashima/pg/index.html>



インターネットで本会議の録画中継を実施しています。

羽島市議会
議会中継 <https://smart.discussvision.net/smart/tenant/hashima/WebView/rd/council.html>




みなたに よしひろ
南谷 佳寛
自民清和会

令和4年度の市政運営について

問 令和4年度の重点施策は

答 羽島の次代を担う子供たちのために、教育環境の充実（学校情報通信アプリの導入やGIGAスクール構想の一環として、児童生徒に配布されているタブレット端末の更なる活用を通して、個々の個性に合わせた「個別最適な学び」「共働的な学び」の一体的な充実を図るため、授業支援アプリとオンライン会議システムも本格的導入したり、コロナ禍での生活不安や多様な背景を抱かえる児童生徒が主体的な学校生活を送ることが出来るよう「子ども応援サポート」を配置）を図るほか災害対策（近年、全国各地で頻発するゲリラ豪雨等の異常気象による水害発生時の被害を最小限に抑制するために、水利設備を監視する情報通信環境の整備）や行政DX等の分野でも、SDGs（持続可能な開発目標）の取り組みやサイエティ5・0の推進等の社会情勢も踏まえた積極的な事業構築を図り、施策を展開していく。国民健康保険については、保険給付費の伸びが国保税に転嫁されることで被保険者負担の大幅な増加が見込まれるがコロナ禍における支援という観点から国民健康保険財政調整基金の活用により国保税の税率を据え置き被保険者の負担の抑制を図る。



あわづ あきら

栗津 明

自民クラブ

羽島市民病院の経営改革について

問 岐阜市民病院は柴橋市長が就任してすぐ全部適用に切り替え、成果が表れてきていると聞いている。羽島市民病院も全部適用に切り替え、行政の考え方から脱却すべきではないかと考える。市長は金は出すが口を出さず、院長を信頼し期限を切り、病院経営は専門家に任せたいかがか。

答 従来から全部適用、指定管理、別法人への委託等々のメリット、デメリットについて考えを巡らせた結果であり、当面今の状況で推移していきたいと思っている。

問 県ではがん対策に力を入れ、がん対策条例を作っている。CT、MRIの空き時間を活用し、人間ドックの充実を図ってはどうか。市民を対象に、半額を羽島市民病院が補助し、市民の健康意識を促す人間ドックを促進すれば、早期発見につながり、治療ができ、収入増加につながるかと考える。夜間や土日も検査する体制をつくり、診察すれば稼働率も上がり収入増につながるかと考えるか。

答 人間ドックの拡充には設備のみならず場所や職員が必要となるが、現在の健康管理センターでは、検査スペースに限度があることや予約枠の9割稼働の状況から困難と考えている。



とよしま やすお

豊島 保夫

元気・羽島クラブ

自治会活動について

問 自治会への加入率は年々低下とのことで、町によっては60%を下回ることもあるが、加入状況の推移は。

答 4月1日現在では、平成23年が76・7%、28年が74・0%、令和3年が72・4%である。10年前と比較すると約4%の減少となっている。加入世帯数は年々増加傾向にある。

問 自治会未加入者及び転入者に対する加入促進の取り組みは。

答 自治委員への「自治会加入促進ハンドブック」の配布、市民課窓口を設置の広告表示モニターでの加入のPR、転入者へ「自治会加入促進チラシ」を渡し加入の呼びかけを行っている。住宅関連事業所等に対してもチラシの配布を依頼している。

羽島市ゼロカーボンシティ宣言について

問 新年度における予算・事業は。

答 市民・事業者及び市が一体となり、二酸化炭素排出量の抑制を総合的に推進する「羽島市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」の策定を進めている。令和4年度は、住宅用再生可能エネルギー設備の設置者への補助制度にかかる費用について予算を計上している。



しばた よしろう

柴田 喜朗

市政自民クラブ

学校情報配信アプリについて

問 アプリの詳細な運用、活用方法は

答 このアプリには、家庭や地域との双方向型情報共有が円滑になる利点があり、情報配信時の既読確認及び未読者への再通知機能、保護者へのデジタルアンケート機能、PTAやコミュニティースクールなど情報配信の必要なグループ設定機能、外国人児童生徒の保護者への翻訳機能などを備えている。さらに欠席・遅刻連絡をすることができ、教員の働き方改革にもつながる。8月より運用をしていく。

羽島市ゼロカーボンシティ宣言について

問 宣言をつけたの今後の施策は

答 主な取り組みとしては、環境問題を自分事に考え行動するための環境学習をはじめ、太陽光発電等の再生可能エネルギーの導入促進や、プラスチックごみの削減等ごみの減量・資源化の推進などを市民・事業者及び市が一体となって取り組む。新たに、個人住宅を対象に太陽光発電設備や蓄電池を設置する世帯への補助を行う。市民や市内事業者がより多く参画してもらうようあらゆる媒体を活用して積極的な情報発信に努めるとともに、国、県の動向を注視しながら脱炭素社会の実現に向けて取り組んでいく。



はら いちろう
原 一郎
公明党

子育てしやすい環境整備について

問 育児の負担軽減につながる市の委託事業として、会員相互の援助で行う「ファミリー・サポート・センター事業」が実施されているが、今後、更なる産前産後の負担軽減を目指して、赤ちゃんの母親に寄り添い丸ごと支える「産後ドウラ」等の取り組みも活用してみては。

答 今後も子育て家庭の負担軽減の一助となるよう「ファミリー・サポート・センター事業」を継続して実施していくとともに、利用促進に向けた事業PRに努めていく。また、「産後ドウラ」等の支援策は、先進事例が全国的に注目されはじめてはいるが、市民ニーズを注視し、市の実情を踏まえた上で、これらの先進事例の調査・研究に努めていきたいと考えている。

ICT化における子ども健康面の配慮について

問 児童生徒の目の健康予防の取り組みは。

答 当市児童生徒の裸眼視力1・0未満と眼鏡使用者の割合は、増加傾向にある。目の健康管理については、学校医から助言をもらうとともに、日本眼科医学会や文部科学省等の資料を活用し、引き続き、児童生徒への指導や保護者への依頼をしていきたいと考えている。



ほり たかかず
堀 隆和
正統派クラブ

羽島市の観光資源と観光行政について

問 先日、円空顕彰会より会員向けにアンケート調査があった。趣旨は、顕彰会の規模を縮小することを問うものであるが、円空の現状は。

答 円空顕彰会の人から、組織の存続に向けた相談を受けている。

問 円空顕彰会・羽島円空資料館への支援金は。

答 円空顕彰会へは、20万円を交付。円空上人遺跡顕彰会へは、羽島円空資料館の運営事業費補助として、市観光協会から3万円を助成。

市からの支出(令和2年度)

ぐるっと羽島	641万円
町屋ギャラリー	2,131万円
山車会館	895万円
円空(関連) 令和3年度予算	23万円

「円空」への支援金が少ない

羽島市教職員の働き方改革と新年度の教育施策について

問 新聞記事に、小中学校担任の1割が「臨時教員」とあった。また、臨時教員や非常勤講師を雇っても足りない状態が問題視されている。岐阜県では、令和3年5月1日現在、教員の不足数が小学校9人、中学校7人であるが、羽島の該当は。

答 令和3年5月1日現在、小学校3人、中学校1人が不足。12月には、育児休暇等により、12人が不足した。



はなむら たかし
花村 隆
日本共産党
羽島市議団

まちづくりについて

問 市内の各町に出張所があった頃は、出張所で住民票などの証明書が取得できたが、それは南北2か所の証明書発行センターになり、今ではそれも閉鎖している。青少年ホームは新庁舎建設にあたり取り壊され、新たに若者が集える場は確保されていない。長く親しまれた市民プールも閉鎖され、花火大会も終了した。その反面、水道料金の値上げ、ごみの有料化が実施され、下水道料金の引き上げも計画されている。松井市長は『選択と集中』に基づく財源配分を行い、受益者負担を押し進めてきた。市民の健康、楽しみ、交流の場が減る一方で負担が増えている。こうした現状についての考えは。

答 人口減少・高齢化の進展に伴う税収の減少や、社会保障費の増加、公共施設等の老朽化に伴う維持・更新費用の増加等に対応しながら、重要課題に取り組んできた。「羽島市まちづくり基本条例」の理念である「市民を主体としたまちづくり」に基づき、「心安らぐ幸せ実感都市はしま」実現のために、歳入確保・歳出削減を実施してきた。市民ニーズを反映した事業の「選択と集中」を引き続き行うことで、質の高い行政サービスを将来にわたって持続的に提供できる財政構造を構築していきたいと考えている。



ほしの あきら

星野 明

明栄神

羽島市民病院について

問 新型コロナウイルス感染症は、まだまだ予断を許さない状況である。地方の病院はひっ迫していると聞いているが、これに対して、病院の危機管理はどのようなものか。

答 入院診療では、1つのフロアを新型コロナウイルス感染症患者の専用病棟とし、一般患者の入院時には全員の人のスクリーニング検査を行っている。外来診療では、発熱外来を敷地内の通常の外来診療と異なる場所に、医療用陰圧テントを設置し、動線を区分して対応している。また、感染状況のフェーズに合わせた各所属の対応方針を整備している。加えて、令和3年11月からは、岐阜大学医学部の感染症に関する特任教授を招き、感染対策の強化を図ってきた。

今般の院内での陽性者の確認に際しては、一部病棟の入院制限、個室化、個人防護具等の着用範囲の拡大による感染防止対策を強化し、空気感染予防策に準じた対応を行った。



こんどう しんじ

近藤 伸二

自民クラブ

消防署職員の退職等について

問 職員の定数と採用と退職については。

答 消防職員の定数88人、採用人数は2人。退職者は年度途中のため答えは差し控える。

問 ここ数年で約10人の消防署職員の中途退職があり、以前の議会答弁で、消防長や消防署長は「災害出動には支障がありません」と答弁されているが、これだけの中途退職者が出ると、勤務体制や災害出動に支障が出ていると思うが支障はないか。

答 本署については、隔日勤務者12人を消防隊、救急隊、指令室に配置し運用している。北分署、南分署については、隔日勤務者4人を配置して運用している。現行の勤務人員で業務遂行に支障は生じていない。

問 中途退職者の増加により、新規採用が増加しても手遅れの状態だと思う。こうした職員の不足状態が続くと職務に対するモチベーションの低下により一層離職者が増えると思う。現職員が他市の消防採用試験を受験したり、他企業への再就職などを検討する職員も増えてくると思う。羽島市にとってはたいへん残念なことである。中途退職者の減少に向けての取り組みは。

答 定員管理適正化計画及び消防力整備計画に定める職員数確保に向けて努めている。



やまだ こうじ

山田 紘治

自民クラブ

旧庁舎について

問 旧庁舎は、日本のモダニズム建築を代表する羽島市出身の建築家坂倉準三氏の設計であり、昭和35年には日本建築学会賞を受賞し、建築界においては特別な建物となっている。また、平成15年には、国際的非政府組織ドコモ日本支部によりドコモ100選に選定され、旧庁舎は我が国のみならず世界的にも重要な建物遺産である。今後、歴史、文化を活かした街づくりを推進していく上においても旧庁舎は極めて重要な役割を担うものと確信する。すぐ解体ではなく、利活用について市民を交えて意見を聞き検討を重ねる必要があると考えるが、耐震補強工事費は。

答 耐震改修工事費のうち耐震補強工事費については、大地震後、構造体の部分的な補修は生じるが人命の安全確保が図られる、一般公共施設に求められる最低基準によるI s 値0・60の施設は5・7億円。構造体の補修をすることなく建築物を使用することを目標とし、人命の確保に加え、十分な機能確保が図られるI s 値0・90を満たす施設は20億円。



羽島市旧庁舎



かわやなぎ まさひろ
川柳雅裕
元気・羽島クラブ

新庁舎を利用した市民の声から より親しめる庁舎へ

問 新庁舎が開庁し約4か月。訪れた市民の声からは「わかりやすい」「案内が親切」など、まずまずの評価であった。しかし、高額な建設費による将来の財政負担や旧庁舎のあり方などを心配する声もあり、新庁舎を利用した100人以上に声をかけ率直な意見を聞き、78人から貴重な意見をもたらした。広い。明るい。わかりやすい。多目的トイレがあつて安心。なにより、案内担当、市民コンシェルジュの対応が素晴らしいという意見に対し、「駐車場内の移動がわかりにくく、遠回りで危険性があるのでは」「駐車場への北側からの出入口として、旧庁舎北側のゲートを開放しては」などの市民の意見もあつたが、対応は。

答 駐車場内の移動動線については、路面標示などでおおむね安全が確保されていると考える。ゲートの開放については、車両トラブルの発生が懸念されることから考えていない。

問 玄関前の通路と建物間にある免振装置の横揺れを逃がす溝が危ないという声があるが。

答 新庁舎周辺の歩行者の安全性の確保のため、現在、注意喚起の看板設置により対応している。転落防止について前向きに検討したいと考える。



やすい ともこ
安井智子
自民清和会

「出張！自分ごとセミナー」について

問 「出張！自分ごとセミナー」の今後の方針は。

答 新型コロナウイルス感染症の影響により、実施が困難な状況であるが、出前講座に含め、動画を配信することで利用機会を促進し、「地域づくり型生涯学習」を推進するため、市民の自分ごと意識の一層の醸成を図る。

母子健康手帳について

問 家族にとつての育児記録の面もある母子健康手帳の名称変更について考えは。

答 令和4年度に、厚生労働省が立ち上げる方針の検討会で議論される予定で、今後示される国の方針に基づき、対応したいと考えている。

コロナ禍におけるスポーツ施設の利用について

問 スポーツ施設の使用のあり方は。

答 市の感染状況は、成人同様、園児・児童生徒の罹患が多く見られることから、感染防止対策として、利用時間を午後8時までに制限。部活動とスポーツ少年団活動は、3月7日から感染防止対策を徹底した上で平日4日、2時間以内での活動を可能とした。市民のスポーツ活動についても引き続き、極力自粛を要請している。



ふじかわ たかお
藤川貴雄
自民清和会

学校教育について

問 令和4年4月から成年年齢が引き下げとなり、義務教育課程において、勤労、納税、経済、法律、契約など、社会の中で自立的に生きていくために必要な学びをさらに充実させる必要があるが、これからの教育についての考えは。

答 成年年齢が20歳から18歳に引き下げられ、中学校や義務教育学校卒業後3年で子どもたちが民法上、社会的に自立するということを踏まえると、各学校で現在取り組んでいるキャリア教育、租税教育、消費者教育、法教育等の充実を図ることが一層大切であると考える。今後も最新の状況や取り組みを踏まえ、児童生徒への指導啓発に努めていきたいと考える。

ひもの減量化について

問 ごみの減量化につながるリユースの普及に向けて、民間活力の活用を検討しては。

答 リユースについては、様々なサービスが民間事業者から提供されており、多くの人が利用している。リユースサービス提供事業者との連携・協力については、必要性和活用方策について、今後研究を進めていきたいと考える。





のぐち よしひろ

野口 佳宏

自民清和会

災害対策について

問 受援計画策定の考えは。

答 現在、市において「人的応援」並びに「物資」にかかる受援計画について関係部局と協議し作成を進めている。策定後については、物流会社との応援協定や受援計画に基づく各種訓練などを通じて計画の実効性を高めていきたいと考える。

市民サービスのデジタル化について

問 学校アプリ導入後の運用方法と実施スケジュール、周知方法は。

答 学校情報配信アプリのグループ機能の活用については、学級や学年を単位とする保護者のもとより、PTAの本部役員や部会委員会、部活動の保護者、学校運営協議会委員や地域のボランティアなど、各学校で創意工夫するとともに、情報配信を希望される人に対しても、柔軟にグループ構成することを考えている。運用までのスケジュールは、4月よりシステム構築準備を行い、6月に職員研修を実施、7月に保護者や地域関係者への説明、周知、8月からの運用開始を予定している。地域関係者への説明、周知については、学校から登録案内の文書配布により行う予定である。



みなたに きよし

南谷 清司

自民清和会

成人年齢の引き下げについて

問 成人年齢の18歳引き下げにともない、高校生は主に家庭科で消費者被害防止と救済などの内容を学ぶ。しかし、保護者や周りの大人が、法律上は成年であることを十分には意識できず、今までと同じように接してしまう可能性がある。周囲の大人への啓発は。

答 広報はしま、回覧板、SNSなどを用いて、18歳、19歳の高校生、大学生が行った契約を取り消せなくなることなどを、保護者へ周知し啓発している。困り事があれば、市の消費生活相談窓口などを活用してもらおうよう周知している。

市民病院へのサイバー攻撃について

問 ある公立総合病院がサイバー攻撃を受け、約8万5000人分の電子カルテが閲覧できなくなつたという報道があつた。その病院では新規患者や救急搬送の受け入れを中止し、2カ月かけてカルテの復旧作業を行ったようである。市民病院の対策は。

答 電子カルテシステムのデータについては、院内にバックアップデータを含む記憶装置を保有している。令和3年度は、紙カルテを使用した運用を試験的に実施した。今後策定される国の指針を踏まえ、対策を講じたいと考える。



ごとう くにひろ

後藤 國弘

自民清和会

公共施設照明のLED化について

問 平成30年にすべての街路灯、公園灯がLEDによりLED化された。当時、年間の電気料、維持管理料をあわせ、リース料を差し引いても年間500万円程度の経費削減が予想されていたが、直近数年間の実績は。

答 街路灯、公園灯のLED化における実績については、電気料金が約半額、維持管理費が約8割の減額となっており、導入時の調査委託費、灯具のリース料を差し引いても460万円の減額で、約2割の経費を削減することができた。

問 2030年には蛍光灯の生産が終了になると、ストック量が減り、価格が上昇していくと言われている。経費削減が見込まれる公共施設照明のLED化が望まれる。市が管理する公共施設はまだ多くあり、市全体で計画的に進めてはと考えるが。

答 公共施設へのLED照明導入については、各施設所管部局における施設管理の考え方や財政状況を勘案しながら、施設ごとに計画的に進めてきた。いずれにしても、2030年の蛍光灯の生産終了を念頭に、CO2削減にも寄与する施策として、着実にゼロカーボンにむけた取り組みを市全体で考え、効率的に進めていきたいと考えている。

第1回(3月)定例会 議案の審議結果

◎…全会一致で可決 ○…賛成多数で可決 ×…賛成少数で否決

議案番号	件名	結果
承第1号	専決処分の報告並びにその承認について(専第23号 令和3年度羽島市一般会計補正予算(第18号))	◎
承第2号	専決処分の報告並びにその承認について(専第1号 令和3年度羽島市一般会計補正予算(第19号))	◎
諮第1号	人権擁護委員の候補者の推薦について	◎
議第1号	令和4年度羽島市一般会計予算	○
議第2号	令和4年度羽島市国民健康保険特別会計予算	◎
議第3号	令和4年度羽島市介護保険特別会計予算	◎
議第4号	令和4年度羽島市・羽島郡二町介護認定審査会事業特別会計予算	◎
議第5号	令和4年度羽島市インター北土地区画整理事業特別会計予算	◎
議第6号	令和4年度羽島市駅北本郷土地区画整理事業特別会計予算	◎
議第7号	令和4年度羽島市後期高齢者医療特別会計予算	○
議第8号	令和4年度羽島市病院事業会計予算	◎
議第9号	令和4年度羽島市水道事業会計予算	◎
議第10号	令和4年度羽島市下水道事業会計予算	○
議第11号	羽島市教育委員会教育長の任命について	◎
議第12号	羽島市監査委員の選任について	◎
議第13号	羽島市固定資産評価審査委員会委員の選任について	◎
議第14号	羽島市公平委員会委員の選任について	◎
議第15号	羽島市附属機関設置条例の一部を改正する条例について	◎
議第16号	羽島市個人情報保護条例の一部を改正する条例について	◎
議第17号	羽島市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について	◎
議第18号	羽島市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について	○
議第19号	羽島市手数料条例の一部を改正する条例について	◎
議第20号	羽島市いきいき元気館条例の一部を改正する条例について	○
議第21号	羽島市老人福祉センター条例の一部を改正する条例について	○
議第22号	羽島市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	◎
議第23号	羽島市送迎車両転回場の設置及び管理に関する条例について	◎
議第24号	羽島市南部かんがい事業等に関する条例の一部を改正する条例について	◎
議第25号	羽島市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例について	○
議第26号	羽島市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例について	◎
議第27号	羽島市水防団設置に関する条例の一部を改正する条例について	◎
議第28号	令和3年度羽島市一般会計補正予算(第20号)	◎
議第29号	市道路線の認定について	◎
議第30号	市道路線の変更について	◎
議第31号	令和3年度羽島市一般会計補正予算(第21号)	◎
請第1号	新型コロナウイルスに感染した、国民健康保険に加入する個人事業主を支援するため、傷病手当金を事業主に支給することを求める請願	×
発議第1号	ロシアのウクライナ侵略に抗議する決議	◎
発議第2号	羽島市議会委員会条例の一部を改正する条例について	◎
発議第3号	羽島市議会議員の議員報酬の特例に関する条例の一部を改正する条例について	◎

議案の賛否一覧

※賛否が分かれたもののみ掲載しています。

議案番号	件名	審議結果																		
		審議結果	南谷清司	柴田喜朗	栗津明	毛利廣次	後藤國弘	原一雅	川柳裕子	安井智宏	野口佳寛	南谷佳保	豊島隆和	堀川貴雄	山田紘治	花村隆	糟谷玲子	星野明	近藤伸二	
議第1号	令和4年度羽島市一般会計予算	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	議	○	○
議第7号	令和4年度羽島市後期高齢者医療特別会計予算	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	議	○	○
議第10号	令和4年度羽島市下水道事業会計予算	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	議	○	○
議第18号	羽島市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	議	○	○
議第20号	羽島市いきいき元気館条例の一部を改正する条例について	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	議	○	○
議第21号	羽島市老人福祉センター条例の一部を改正する条例について	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	議	○	○
議第25号	羽島市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例について	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	議	○	○
請第1号	新型コロナウイルスに感染した、国民健康保険に加入する個人事業主を支援するため、傷病手当金を事業主に支給することを求める請願	×	●	●	●	●	●	○	●	●	●	○	●	●	○	○	議	●	●	

発行：羽島市議会
〒501-6292 羽島市竹鼻町55 TEL (392) 1111 FAX (391) 1733 <https://www.city.hashima.lg.jp>
編集：広報広聴委員会



この議会だよりは、植物油インキを使用しています。